

経 団 連 自 然 保 護 基 金 25 周 年 記 念 事 業

SATO YAMA UMIプロジェクト ユース海外インターンシッププログラム

奨学金付インターンシップ募集のお知らせ

日本環境教育フォーラム、バードライフ・インターナショナル東京およびコンサベーション・インターナショナル・ジャパンが共同で取り組む「SATO YAMA UMIプロジェクト」では、プロジェクトの一環として、ユース海外インターンシッププログラム（以下、本プログラム）を実施いたします。

本プログラムは、将来的に社会リーダーとして、変革をもたらすことを期待されるユース世代の育成のための「奨学金付インターンシップ」への参加者を募集するものです。参加者には、本プロジェクトが実施しているアジア太平洋地域でのプロジェクト業務(カンボジア、インドネシア、ニューカレドニア、ベトナム)に携わっていただくことで、実体験を通じて環境問題への理解を深める機会を提供します。

1) 目的

本プログラムは、将来的なリーダーとなることを期待されるユース世代に対し、アジア太平洋地域のプロジェクトサイトとの交流を通し、環境への理解を深める機会を提供することを目的とします。

2) プログラム内容

日本環境教育フォーラム、バードライフ・インターナショナル東京およびコンサベーション・インターナショナル・ジャパン（以下、実施団体）は、アジア・太平洋地域において持続可能な開発の実現に資するため、SATO YAMA UMI プロジェクトを共同で実施しています。

本プログラムは、その一環として、国内のユースの方々に海外の保全活動の現場を直接経験する機会を提供することで、将来、行政、企業、市民社会において持続可能な社会づくりにリーダー的な役割を果たす知識と経験を身に付けてもらうことが目的です。インターンシップ派遣先や、現地での活動内容についての詳細は、添付1をご参照ください。

3) 応募資格

- ①応募時に日本又は海外の大学・大学院に在学中又は卒業しているユース（18歳～35歳）であること。
- ②自然環境保全、持続可能な開発に関心があり、将来も同分野の活動に携わることを希望していること。

- ③心身ともに健康であること。
- ④国籍は不問。ただし、日本語で業務遂行（研修、報告書作成）が可能なこと。
- ⑤英語またはインターンシップを希望する現地語でコミュニケーションができること。
- ⑥希望するポストが別途指定している要件がある場合は、これを満たしていること。
- ⑦本プログラム参加に要する経費を自己負担できること（一部奨学金あり）。
- ⑧「環境リーダーシップ講座」（8月5日～8月9日/詳細別途案内）に参加可能なこと。
- ⑨インターン終了後、氏名・所属入りの報告を SATO YAMA UMI プロジェクトのウェブサイトおよび広報文書、報告文書に掲載することを許諾できること。
- ⑩未成年の場合は、保護者の同意が得られること（採択後に同意書の提出をお願いします）。授業欠席・欠勤のためインターンシップへの参加証明書が必要な場合は、発行します。

4) 募集人数、及び、派遣先

◆募集人数

各プロジェクト 1~2 名

◆派遣先

- カンボジア（1） オオヅル保全に向けた小中学校での環境教育
- カンボジア（2） オオヅル保全に向けた地域住民への普及啓発と環境教育
- インドネシア 国立公園における里山保全に向けたエコツアー開発
- ニューカレドニア マンタの生態調査と普及啓発活動
- ベトナム 中央北部の小学校における環境教育のための人材育成

5) 応募方法

下記の応募書類を揃え、2019年5月31日23時59分までに youth@satoyamaumi.jp 宛てにメール添付にて提出してください。応募書類を確認の後、受領通知を返信します。応募後、3業務日以内に受領通知が届かない場合は、youth@satoyamaumi.jp までご連絡ください。

◆応募書類

- ① 応募申請書（様式/<http://www.satoyamaumi.jp/ja/youthprogram/>よりダウンロードいただけます）
- ② 履歴書（日・英）（書式自由）

◆応募締切

締切日：2019年5月31日23時59分

応募先：youth@satoyamaumi.jp ※メールのみ受付

【応募に際しての注意事項】

- 応募メールのタイトルは、「【インターン応募】 フルネーム」としてください。
（例、【インターン応募】 里山海子）

- 応募書類は一切返却しません。
 - 不足・不備のある書類、資格要件を満たさない内容の書類は選考の対象外となります。また、締切期限を過ぎて提出された応募書類は、受け付けません。
 - 選考結果などに関するお問い合わせにはお答えできません。
- ※応募書類に記載された個人情報、本プログラムの実施運営に必要な選考、各種手続き、緊急連絡先の把握、フォローアップ調査、実績の取り纏めの目的以外には使用しません。また、合格に至らなかった場合は、1年間保管の後、実施団体の責任のもとで適切に廃棄します。

6) 選考

◆選考方法

全応募者のうち、「応募資格」を全て満たした選考対象者に対して書類選考を実施します。その後、書類選考合格者を対象に面接選考を行います。選考は、実施団体の担当者が行います。面接に要する経費（旅費、宿泊費等）は全て自己負担となります。応募者の居住地によっては、面接選考を Skype にて行うこともあります。

◆選考日程

- 書類選考結果通知： 6月10日
- 面接選考の日程調整と実施： 6月11日～21日
- 最終選考結果通知： 7月1日

7) 事前オリエンテーション

選考に合格したインターンは、東京で開催される「環境リーダーシップ講座」に参加してください。インターン先に関する詳細は、日本側の担当団体が個別に連絡の上、オリエンテーションを実施します。

8) 環境リーダーシップ講座

インターンシップをより有意義なものとするためと、将来環境分野でリーダー的な役割を担える人材を育成する目的で、「環境リーダーシップ講座」を開催します。インターンは、渡航前に受講してください。2019年8月5日～8月9日に東京で開催します。本講座の参加は無料ですが、遠方よりご参加いただく場合に係る交通費や宿泊費は各自でご負担下さい。詳細は書類選考の結果とともにお送りします。

9) インターン派遣時期・実施期間

現地受け入れ団体と調整の上、2019年8月～2020年2月に実施してください。期間は、最低2週間とします。詳細は、実施団体および現地受け入れ団体と協議の上、決定することになります。

10) インターンシップに係る費用支援

- ①フライトは行き先に関わらず、全額支給いたします。
- ②滞在費等支援（奨学金）は、準備費、現地での滞在費その他経費、物価や滞在期間を勘案して決定致します（各人10万円～20万円の範囲での支給が目安です）。

③保険は、CIジャパンで契約し、全員加入します。
上記以外の経費は参加者の自己負担とします。

11) インターンシップの勤務時間・休日

受け入れ先団体のルールに従います。

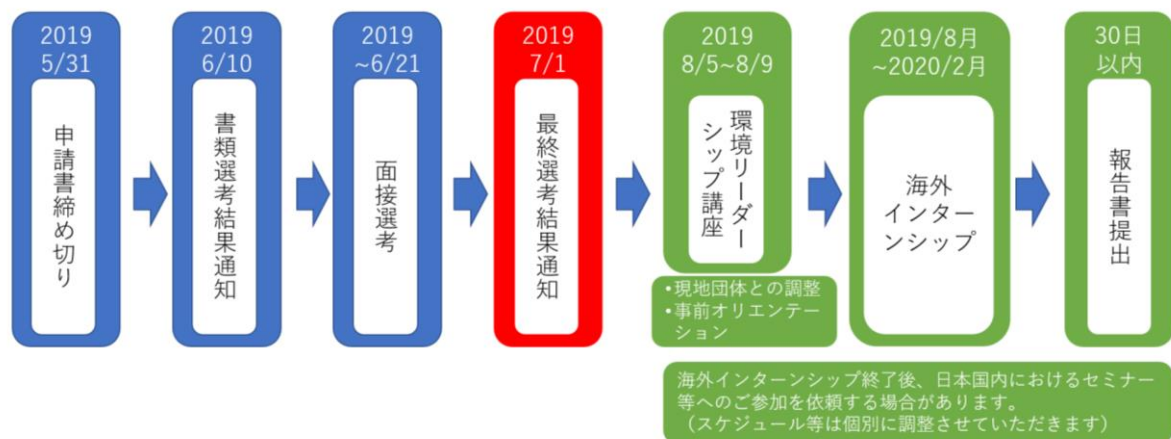
12) 報告書の提出

インターン活動内容をまとめた報告書を、帰国後 30 日以内に下記「お問い合わせ先」まで提出してください。

13) 守秘義務・禁止事項

インターンには、インターンシップ中に知り得た実施団体並びに受け入れ団体等の秘密に関わる事項についての守秘義務が課せられます。インターン開始前に、実施団体と守秘義務に関する覚書を取り交わしていただきます。

<参考：ユース海外インターンシップ・プログラム/スケジュール概要>



SATO YAMA UMI プロジェクトは、経団連自然保護基金（KNCF）の創設 25 周年特別基金からの助成を受け、運営されています。



経団連自然保護基金は、リオ・デ・ジャネイロにて「環境と開発に関する国連会議（地球サミット）」が開催された 1992 年に設立されました。主に自然資源管理や希少種保護を含む生物多様性保全や植林、環境教育など幅広いプロジェクトを支援しています。これまでに 1,000 以上のプロジェクトに対して 3,400 万ドルを支援してきました。

SATO YAMA UMI プロジェクトは、経団連自然保護基金 25 周年記念特別事業として、持続可能な社会の実現、及び、生物多様性保全の主流化を目的に、事業対象国・地域における情報の共有促進と、地域コミュニティの発展・次世代人材育成に取り組んでいきます。

■お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、下記メールアドレスへお送りください。

youth@satoyamaumi.jp

別添資料:SATO YAMA UMIプロジェクト インターンシップ・プログラム受け入れ先情報

国	カンボジア(1)	カンボジア(2)	インドネシア	ニューカレドニア	ベトナム
プロジェクト名	オオヅル保全に向けた小中学校での環境教育	オオヅル保全に向けた地域住民への普及啓発と環境教育	国立公園における里山保全に向けたエコツアー開発	マンタの生態調査と普及啓発活動	中央北部の小中学校における環境教育のための人材育成
現地団体	Mlup Baitong	Birdlife Cambodia Programme	日本環境教育フォーラムインドネシア事務所	Conservation International New Caledonia	Viet Nature
実施団体(国内)	日本環境教育フォーラム	バードライフ・インターナショナル東京	日本環境教育フォーラム	コンサベーション・インターナショナル・ジャパン	バードライフ・インターナショナル東京
時期		9月～11月	8月～11月		9月～11月
期間	2週間。希望により延長も可。	4週間～12週間	2週間		12週間
活動内容(TOR)	1. 現地スタッフとともにプロジェクトに参加する 2. プロジェクトを理解し、ステークホルダーと作業をコーディネートする 3. 対象とする学校の教師、児童・生徒、コミュニティに対して環境教育を行う 4. 可能であれば、基礎英語・日本語の簡単なレッスンをを行う	1. Boeung Prek Lapouvの2つの小学校でのオオヅルおよび環境教育のパイロットプロジェクトを内部評価者として評価する 2. この2校での活動を継続するためのドナーを探し、バードライフ・カンボジアのスタッフと共にプロポーザルを作成する 3. 2名のカンボジア人インターンに対し、英語でのレポート作成を指導をする	1.地域住民が実施する国立公園でのエコツーリズムプログラムの体験 2.同プログラムへのフィードバック 3.同プログラムの記録(写真・動画)及び広報資料の作成	1. フィールド作業の支援 2. 写真判別、衛星タギング(可能性あり)の実施 3. 写真判別のデータ分析 4. ダイブショップなどを通じた意識啓発活動 4. 対外的な情報発信・コミュニケーション	1. 環境教育、意識啓発、プロジェクト報告用のビデオの制作 2. 霊長類観察フィールドトリップの支援・参加 3. プロジェクトスタッフと共に、学校での環境教育、意識啓発活動に参加
アピールポイント	・ホームステイを通してカンボジアの文化、地元のリフスタイルを学べる。 ・カンボジアでの環境教育について深い知識や経験が身につく。 ・関連ステークホルダーや首都プノンペン、プロジェクトサイトの学生とのネットワークを構築できる。	下記の経験をすることができる: ・コミュニティ(特に子供)の野生生物や湿地の保全に関する知識向上を進める ・教育プロジェクトの長期計画の作成 ・湿地およびオオヅルの保全(及びその課題)に関する知識 ・様々な背景と経験を持つステークホルダーとの交流 ・カンボジアの文化	1.国立公園でのエコツーリズム開発に携わることができる。 2.ホームステイを通してインドネシアの文化、地元のリフスタイルを学べる。	・インターンは、多者共同プログラムに参加する。 ・小さいが経験豊かなコンサベーションリスト、科学者および技術者からなるチームの中で、フィールドワークを経験でき、海でもっとも多様な生き物、マンタに遭遇することができる。 ・本プロジェクトの主要テーマのひとつがコミュニケーションと教育であるため、インターン期間中に開かれる集会には積極的に参加する。	・プロジェクト対象地は、Bac Huong Hoa 自然保護区とKhe Nuoc Trong自然保護区(候補)を含むTruong Son KBAの一部で、Truong Son山脈の傑出した生物多様性を支えている。従って、環境教育・コミュニケーション活動に携わることに加え、自然探索活動中には、美しい低地常緑林や鳥類・霊長類を楽しむ機会に恵まれている。学校の課外活動を通じて、地元の人や文化をより深く理解できる。 ・Quang Binh州は、中部ベトナムでも観光の人氣が高まっている地域である。Quang Binhに加え、近隣のQuang Tri州、Thue Thien Hue州、Da Nang州にも足を伸ばすことができる。
宿泊等情報<目安>	プロジェクトサイト滞在時(ホームステイまたはゲストハウス):一泊1,000円～2,000円 プノンペン滞在時(ゲストハウスまたはホテル):一泊3,000円～4,000円	昨年のインターン同様、オフィス近くにある月300ドルほどのアパートをお勧めする。活動現場までは、往復40ドル程度。食事代は、1日10~20ドル。	・ボゴール市内滞在時はホテル利用(ホテルはJEEFにより選択肢を提示 35~80US\$の範囲) ・フィールド滞在時は、地域住民宅にホームステイ(3食込みで宿泊料金30US\$程度) ・市内での食費は1食2~10US\$程度	一泊7000円～12000円で宿を用意できる。	・フィールドオフィスで一泊10ドル(電気、水、掃除。炊事・洗濯は各自)。Dong Hoiより約55km。 または ・Dong Hoiのホテルまたはホームステイで一泊15から20ドル(フィールドオフィスまでの交通費は要負担)。 ・食費目安:1日10~15ドル ・交通:タクシー0.5ドル/km。バス片道1.5ドル(ただし、バスはフィールドオフィスまで行かず、バス停からはプロジェクトのバイクの使用可)
その他	・インターンシップ期間中の2/3は農村地域(電気や水道は不安定)に滞在予定である。 ・教員や児童・生徒と共有できる特別なスキルがあると良い(音楽、スポーツ、美術など) ・環境教育に関する教材や経験があると良い。 ・日本の文化や学校の様子に関して伝えてくれると良い。	・オオヅルのプロジェクトに関わるチームの弱点であるため、英語に堪能(スピーキング、ライティング)なインターンを求めている。 ・プロポーザルの作成経験は非常に有益。 ・カンボジアのチームは、フレンドリーで新インターンを心待ちにしている。渡航前に、昨年のインターン経験者から現地の状況を情報収集することをお勧めする。	・農村滞りに耐えられる健康条件 ・森林トレッキング等、最低限の野外活動スキル ・地域住民とのコミュニケーションが必須のため、最低限のインドネシア語能力を習得していることが望ましい。	・ダイビング免許(少なくともPADIオープンウォーターライセンスで20潜水、またはPADIアドバンスドライライセンス)を持っていることが望ましい。(ダイビング保険はSATO YAMA UMIプロジェクトで提供) フランス語ができるとなお良い(ニューカレドニアではフランス語が主言語で、英語は街ではほとんど話されない)。	・15日以上ベトナムに滞在する場合は、ビジネスビザが必要。 ・国境地域への許可証取得には要5日。毎回10ドル。
滞在費等支援			10万円～20万円の間で、期間・場所に応じて決定します		